

第76回 日本公衆衛生学会総会市民公開シンポジウム

受精時・胎芽期・胎生期・幼児期の 環境因子から成人後の健康や 次世代の健康を考える

平成29年 **11** 月 **2** 日(木) 13:00~15:00

第12会場(鹿児島市中央公民館 1F ホール)

— 講演 —

「胎児期・幼児期の環境因子が次世代の健康や発達に与える影響」

岸 玲子(日本学術会議連携会員、北海道大学環境健康科学研究教育センター 特別招へい教授)

「千葉出生コホート研究から分かってきた環境と次世代の健康」

森 千里(千葉大学医学研究院環境生命医学 教授・予防医学センター センター長)

「妊娠中の栄養と出生体重からみた中国の次世代の健康を考える」

顧 艶紅(大阪医科大学医学部衛生学・公衆衛生学 講師)

「小さく産んで大きく育てるのは良いのか」

福岡 秀興(早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構規範科学総合研究所 招聘研究員)

入場
無料

申込
不要

座 長：池ノ上 克(宮崎大学学長)

岸 玲子(日本学術会議連携会員、北海道大学環境健康科学研究教育センター 特別招へい教授)

開会の挨拶：小林 章雄(日本学術会議連携会員、健康・生活科学委員会・基礎医学委員会合同パブリックヘルス科学分科会委員長、
一般社団法人 医学と社会・連携支援機構 理事長)

閉会の挨拶：秋葉 澄伯(日本学術会議第二部会員、鹿児島大学名誉教授)

お問い合わせ：福岡 秀興(早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構)

E-mail: hideoki.fukuoka@gmail.com 電話・FAX: 03-5286-2679

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会・基礎医学委員会合同パブリックヘルス科学分科会、第76回日本公衆衛生学会総会実行委員会、
全国公衆衛生関連学協会連絡協議会

後援：日本母性衛生学会、日本生命科学アカデミー(旧称：日本医歯薬アカデミー)